

# 浦戸・河和地区防災計画

令和4年度版

浦戸・河和区自主防災会議



(2) 新たな避難情報

警戒レベル4避難指示で必ず避難

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 <p>災害発生 又は切迫</p>	<p>きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b>※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
<p>~~~~&lt;警戒レベル4までに必ず避難!&gt;~~~~</p>			
4	 <p>災害の おそれ高い</p>	<p>ひなんしじ <b>避難指示</b>※2</p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
3	 <p>災害の おそれあり</p>	<p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	 <p>気象状況悪化</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>今後気象状況 悪化のおそれ</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

◎ 災害に備えて実施すること

平 時

1 地震

- ・揺れに耐えるために、家具の転倒防止対策、ガラスに飛散防止シールの貼り付け。
- ・家の耐震補強対策
- ・水や食料品の備蓄や非常持ち出し品の配備。
- ・家族間の連絡先や待ち合わせ場所の確認。

2 津波

- ・避難ルート及びルート上の安全確保。
- ・浸水区域の確認。

3 土砂災害

- ・土砂量の想定に伴う居住場所の設定。
- ・ため池堤体の確認。

4 台風

- ・停電対策を整備する。(飲料水、備蓄食料、海中電池等)
- ・避難場所の確保をする。

(3) 土砂災害・台風・集中豪雨の避難の目安



- 4 8時間降水量が 398mm たっぷりな雨
- 3 時間降水量が 156mm たっぷりな雨
- 風速 5.0 m/s 以上 たっぷりな風
- 1 時間雨量 10mm 程度の やや強い雨が 4.0 時間 (約 2 日間) 振り続く
- 1 時間雨量 52mm の やや強い雨が 3 時間以上 振り続く
- 時速 だと約 180 km の 非常に強い風、多くの 樹木 が倒れる
- 電柱や街灯が 倒れブロッ

**土砂災害について**

台風や集中豪雨などの大雨が続くと土砂災害が起きやすくなります。

～土砂災害警戒情報に注意し、早めに避難しましょう～

がけ崩れ	土石流	地すべり
<ul style="list-style-type: none"> <li>小石がバラバラと落ちてくる</li> <li>斜面から水が噴き出す</li> <li>斜面にひび割れができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山鳴りがする</li> <li>雨が降り続けているのに川の水位が下がる</li> <li>川の流れが濁り、流木が混じりはじめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地面にひび割れができる</li> <li>沢や井戸の水が濁る</li> <li>池や沼の水の量が急に変わる</li> </ul>

**集中豪雨について**

短時間のうちに狭い範囲に集中して降る大雨を集中豪雨と呼びます。集中豪雨が起きたら、気象情報や避難指示に注意し、いつでも避難できるように準備しましょう。

■ 1 時間の雨量と降り方 ※気象庁による。

1 時間の雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ
80以上	猛烈な雨	患苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる。
50～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴゴゴと降り続く。)
30～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。
20～30未満	強い雨	どしゃ降り。
10～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る。

◎ 災害に備えて実施すること

災害時

- 地震
  - ・シェイクアウト
  - ・火災に対する防災対策
  - ・ラジオや携帯電話による情報収集
- 津波
  - ・津波情報収集
  - ・高台への避難
  - ・高齢者への声掛け
- 土砂災害
  - ・安全地帯への避難
  - ・被害確認
- 台風
  - ・気象情報の収集
  - ・避難場所への早めの避難
  - ・近隣高齢者への声掛け
  - ・断水対策

# 災害時の「非常持ち出し品」と「備蓄品」について

日頃から各家庭で**少なくとも1週間分以上の家庭備蓄**を確保しましょう。

## 非常持ち出し品

男性で15kg程度、女性で10kg程度が目安ですが背負って避難できるよう各個人で調整しましょう。

### ●非常食関連

- 飲料水(1.5ℓ程度)
- 携帯食(チョコレート、栄養補助食品など)

### ●感染症対策物品

- マスク □体温計
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ

### ●生活用品関連

- 懐中電灯(予備電池・電源も)
- ヘルメット □手袋(作業用)
- 運動靴 □携帯ラジオ(予備電池も)
- 携帯電話用充電器・バッテリー
- 万能ナイフ □筆記用具(メモ、ペン)
- タオル □使い捨てカイロ
- ポンチョ □下着

### ●貴重品関連

- 現金(10円、100円硬貨含む)
- 免許証など身分証明書のコピー
- 健康保険証のコピー
- 通帳のコピー、印鑑

### ●救急・衛生用品関連

- 生理用品 □トイレトイレットペーパー
- 持病薬(合わせて処方箋のコピー)



## 備蓄品

少なくとも**1週間以上生活**ができるよう準備しましょう。飲料・食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限等をチェックして新しいものに交換しよう。

### ●非常食関連

- 飲料水(1人1日3ℓ×7日以上)
- 非常食(缶詰、レトルト食品、お菓子、栄養補助食品など)
- ウォータータンク(給水用)

### ●生活用品関連

- 衣類 □毛布
- ろくそく □ライター

### ●調理器具関連

- カセットコンロ
- カセットガス
- ラップ □調味料

### ●救急・衛生用品関連

- 簡易トイレ
- ウェットタオル
- 医薬品セット(常備薬、消毒液、絆創膏、包帯等)
- 持病薬(合わせて処方箋のコピー)
- 生理用品 □トイレトイレットペーパー



## 各家庭に応じた備え

家族で何が必要か話し合い準備しましょう。

### ●乳幼児用

- 粉ミルク □離乳食
- 紙おむつ等

### ●高齢者用

- 介護食
- 大人用紙おむつ
- 入れ歯 □補聴器等

### ●疾患のある方

- 処方箋のコピー
- 持病薬等

### ●ペット用

- ペット用食品
- リード
- ケージ等



## ローリングストック法で備蓄し 災害に備える

普段から少し多めに常温保存が可能な食品や水、生活用品を買っておき、使ったら使った分だけ買い足して、常に一定量の新しい食品、水、生活用品を備蓄する方法です。



### ◎ 災害に備えて皆で実施すること

- ・避難経路等の整備
- ・隣組間のコミュニケーションの構築
- ・防災訓練等への積極的参加

### ◎ 上記事業を継続するための方策

- ・定期的な防災訓練等の実施・参加
- ・道普請等による道路環境の確認・整備

# 【地震・風水害ハザードマップ】

